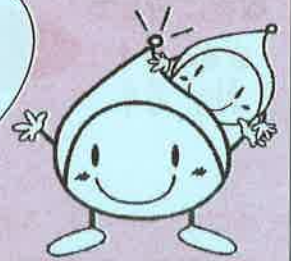


ささえ

みんなが気軽に
ボランティアに
参加できるように
なればいいな!



エールくんとミニさぼちゃん

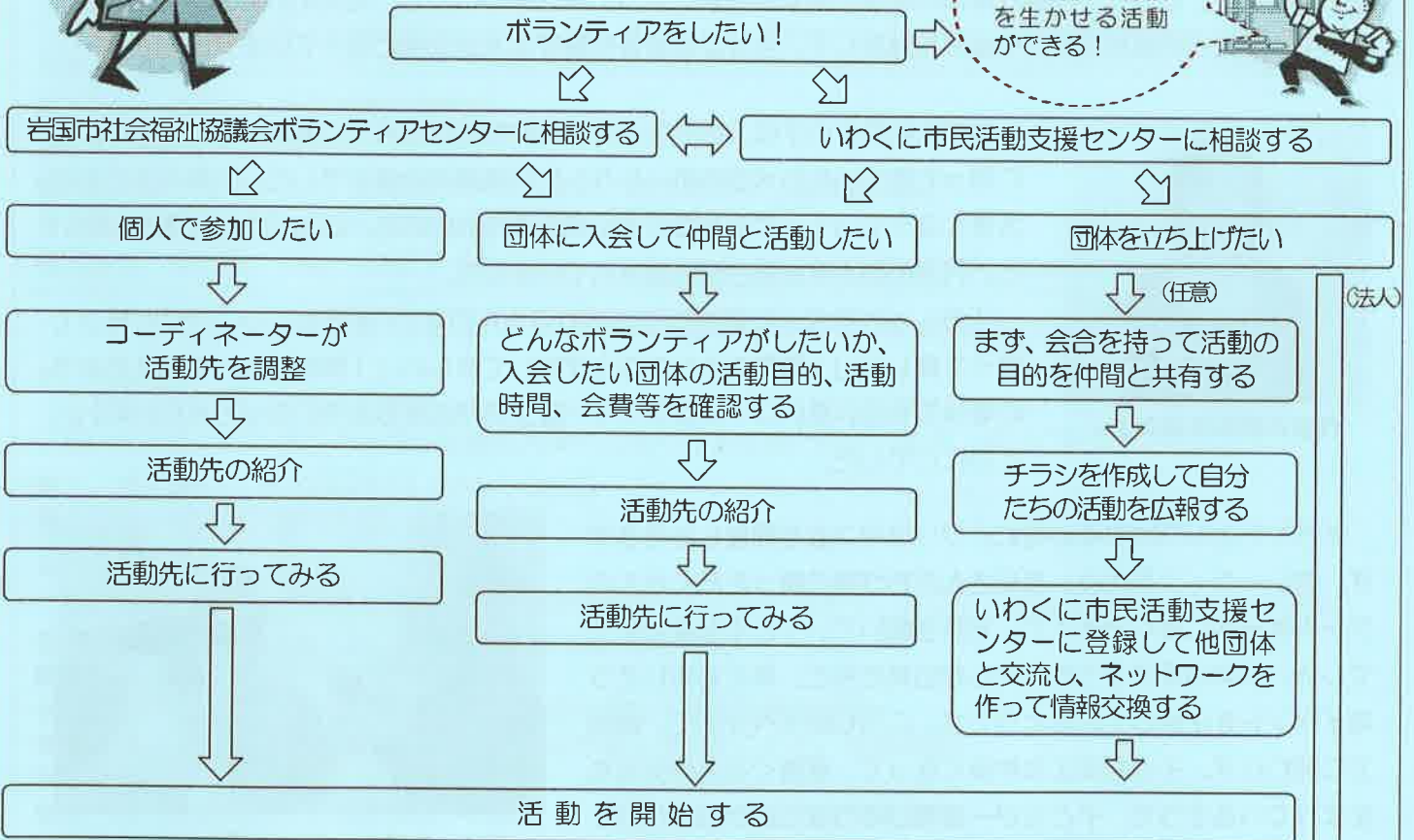
奇数月発行



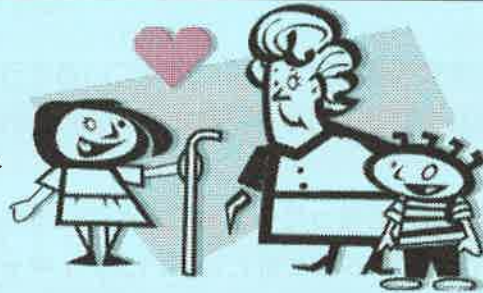
ボランティア活動をしようと思う時、市民活動に参加しようと思う時、
自分ができること、好きなこと、無理せずに参加できることを見つけて、
はじめの一步を踏み出してみませんか？

では、どのようにすればいいのでしょうか。

自分で始める。
生涯現役で特技
を生かせる活動
ができる!



入会して仲間と活動できた!
たくさんの人と交流できて
よかった!



NPO 法人を設立する場合、
設立総会を発足する。活動目的や活動が 20 分野にあてはまるか、非営利であるか、公益性があるかよく話し合う。
県民局、県民生活課に申請書を提出する。
事前に県民局、県民生活課、やまぐち県民活動支援センター、いわくに市民活動支援センターへ相談する。2 か月縦覧し、登記所で登記する。
その他、労務、会計、税務などの事務手続きがある。

個人で活動しても、市民活動団体で活動しても、NPO 法人で活動しても、基本は同じ。地域の人困ったことを解決する活動です。

ボランティアをする時のお約束

- ① 自分のペースで参加しよう!
- ② 個人情報をもらさない
- ③ 相手に寄り添った活動をしよう!

《お礼》(株)ミヤベ様より作業服 73 着を市民活動団体に寄付していただきました。

ありがとうございました。特に野外で作業される団体に活用していただきました。



取材に行っ
てきました！
No. 64

ダウン症児 新しい可能性の道 「にこにこ」

「にこにこ」は、平成23年に設立されました。当初3名だった会員は現在13名に増え、活動の場を広げています。主な活動内容として、月に一回の「おしゃべり会」と、年2回のイベントを開催しています。

今回は、月に一回開催されている「おしゃべり会」にお邪魔しました。岩国市医療センター医師会病院の療育センターで、ダウン症で生まれた子どもをもつ仲間が集まります。お菓子を食べたりお茶を飲みながら、和気あいあいとした雰囲気の中、子どもの成長の喜びや悩みを共有して、色々な情報を交換する大切な場になっています。



岩国市医療センター医師会病院の療育センター



代表の西本奈緒美さん

2歳になる女の子は、色々なことに興味を持ち始めているようで、取材のために持ってきていたカメラやボールペンに興味津々な様子でした。会員の子どもの大きくなっていく上で色々なことに興味を持ち始めた、この好奇心を活かしたいと、代表の西本奈緒美さんは話されていました。

「おしゃべり会」に参加しているお母さん方は、「子どもにのびのびと笑って育てて欲しい。」「健常の子とかわらず接して欲しい。」「学校に歩いて通えるようになってもらいたい。」「自立をして一般生活が出来るようになってもらいたい。」とのことでした。

イベントとしては去年の冬に、クリスマス会を開催したそうです。カレーライスを作り、お母さんたちが持ち寄ったたくさんのケーキと一緒に食べたそうで、お話を聴いてとても楽しそうでした。今年の夏はそうめん流しが出来たらと、早くも楽しそうなイベントを企画しているようです。こうしたイベントで、親同士に関わらず、子ども同士も仲良くなって、家族ぐるみの交流も生まれているそうで、子どもが一番喜びそうなことが出来ればとのことでした。



おしゃべり会の様子

子どもが太鼓が好きなので、将来発表会を開催できたらと考えているそうです。そのために、太鼓を教えてくださいと、ボランティア講師の方を募集しているそうです。興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ西本さんの方にお問い合わせください。

また、ダウン症に限らず、他の地域や障害を持った子どもたちとの交流も考えているそうで、仲間の輪がどんどん広がっていくことを望まれていました。ダウン症というハンディキャップがあっても、色々な可能性が広がっているということ、発見できるようなステキな場にしてほしいと思います。(高妻)



**太鼓
ボランティア
講師募集！**

●お問い合わせ●

「にこにこ」

西本 奈緒美

電話 090-5702-5700

市民活動団体のイベント情報



チャイルドライン岩国ステーション 公開講座

子どもは遊びながら自ら育ち、おとなは子どもに救われ育ってきた。子どもはおとなの育ての親。遊びに関わるおとなの育成を目指す講座。

- と き 平成25年7月21日(日) 13:00~16:00
- 場 所 国立病院機構岩国医療センター 研修センター1階
- 参加料 1,500円 ●講師 天野 秀昭 さん
- 託児料 300円(保険代含む) 託児は7月17日(水)までにお申し込みください
- 問合せ 事務局 TEL&FAX 0827-28-5051 事務局携帯 080-1636-1135
E-mail childline-iwakuni@honey.ocn.ne.jp

錦帯橋さくら守の会 会員募集

昨春から一年間植物の知識や園芸の技術を学んだメンバーが中心となり、今年3月に設立されました。老年化が進み、痛みが目立つようになってきた錦帯橋周辺の桜の手入れ・育成事業に取り組むボランティア団体です。

- 活動日 原則として毎月第二月曜日
- 活動場所 錦帯橋周辺
- 活動内容 桜の手入れ(剪定や肥料やりなど) 病虫害対策(薬剤散布など)
- 会費 入会金 1,000円 年会費 2,000円
- 問合せ 事務局 TEL 0827-38-0331 E-mail thunder@mx5.tiki.ne.jp

ご存知ですか?! 学校図書館~岩国市の学校図書館は いま~

★パネル展★

子どもたちの通う学校の図書館って、どんなところでしょう?理想の学校図書館は?さまざまな想いをパネルに描いてみました。岩国市の学校図書館充実への取り組みもまとめています。ぜひご覧ください。

- と き 2013年8月21日(水)~31日(土)
- ところ 中央図書館 1階 展示ホール

★わくわく講座★

学校図書館で実際に勤務している司書のお話を聞くことができます。どなたでもお気軽にご参加ください。

- と き 2013年8月24日(土) 14:00~16:00
- ところ 中央図書館 2階 講座室2
- 講師 河村 京子 氏(周南市立富田西小学校・学校図書館司書)
- 演 題 『図書室を図書館にするために取り組んできたことと、その課題』
- 参加費 無料
- 主 催 学校図書館を考える会・岩国 ●後 援 岩国市教育委員会
- 問合せ 学校図書館を考える会・岩国
野嶋 TEL 0827-43-5335 (FAX 兼) 池内 TEL 0827-32-4930 (FAX 兼)



支援センターからのお知らせ

7/29~8/4の間、公民館
駐車場補修工事のため、
支援センターでの印刷業
務等はお休みします。電
話での業務は受け付け
ています。

「第1回 登録団体交流会」報告

5月25日、岩国市中央公民館で登録団体の交流会を開催しました。山口きらめき財団助成金担当者の森永小波さんを講師に招き「助成金申請書の書き方のコツ」を学びました。また、防府商工高教諭の黒川康生さんによる「お笑い体操」を笑い声をあげながら、参加者(31団体・56人)全員で体験しました。今回の団体同士の交流から、新しい輪が繋がっていく交流会になったと思います。





助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

グローバルやまぐち国際活動支援事業費補助金

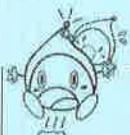
①1.国際交流事業（※山口県内で実施される事業に限る）：県民と外国人との交流事業、県民の国際交流、国際理解の促進に寄与する事業、本県在住外国人に対する支援事業 など2.国際協力事業（※国外で実施される事業に限る）：開発途上国に対する生活、医療、教育及び技術協力等の援助など ②事業経費の1/2以内（限度額10万円） ③平成25年9月30日（月） ④公益財団法人 山口県国際交流協会（開館時間：火曜日～土曜日8：30～17：15） TEL：083-925-7353 FAX：083-920-4144
E-mail：yiea@yiea.or.jp URL：http://www.yiea.or.jp/katsudou/hojyokin.html

平成25年度 県民活動支援事業

①県民活動（ボランティア活動）を行う団体であって、継続的に活動を行っている、あるいは行う計画のある団体、新たに取り組む活動やネットワークの形成などの事業 ②5～10万円以内（助成率10/10） ③平成25年9月30日（月） ④一般財団法人 山口県巖島会 TEL：083-933-2267
FAX：083-932-6858

2013年 ドコモ市民活動団体への助成（環境分野）

①「環境を守る」をテーマにこれからの地球や地域の環境のためになる活動 ②1団体あたり50万円を標準とし、100万円まで申請可能 ※標準額を超える申請の場合、施策内容などを審査のうえ決定 ③平成25年7月31日（水） ④NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド TEL：03-3509-7651
FAX：03-3509-7655 E-mail：info@mcfund.or.jp
URL：http://www.mcfund.or.jp/admission/environment.html



岩国のへえ～ 55の巻

小糠踊りは、杜若踊りだった！

「小糠踊り」は、江戸時代から岩国城周辺の町家や農家など、庶民の間で老若男女を問わず親しまれてきた伝統芸能ですが、当初は「杜若踊り」という名前でした。ところが、踊りの際に歌われていた民謡に「来ぬか来ぬかと 浜に出て見れば 磯は松風音ばかり」という一節があったため、いつしか「来ぬか踊り」と呼ばれるようになりました。その後、世代から世代へと受け継がれていく中で、替え歌が歌われ、「小糠踊り」という本来とはまったく意味の異なった漢字が当てられ定着してしまったのです。

また、この「小糠踊り」の由来には、二つの説があります。一つ目は、出雲伝來說。初代藩主吉川広家が出雲に討ち入った際、出雲の踊りを大変気に入って岩国に伝えたのではないかとされています。二つ目は、福岡移入説。藩政の初期に優秀な家来を福岡に遣わし、藩中黒田で行われていた面白い踊りを習って岩国に持ち帰り、これを後世にまで遺したとも言われています。

現在、小糠踊り保存会の方々がこの踊りを次世代に引き継ぎ、保存していくため、様々な課題に取り組みながら活動していらっしゃいます。

参考文献：大岡昇『岩国の民俗と俚諺』岩国市立岩国図書館発行

編集後記

もうすぐ夏休みです。夏休みには河川清掃やゴミ拾いなどのイベントがあちらこちらで開かれます。

子どもたちがボランティア活動に参加するきっかけづくりになります。

子どもたちの「ボランティア精神」を養うためにも、親や地域の人たちが一緒にイベントに参加してほしいと思います。この機会に、これからの社会を担う子ども心に「みんなのためになること」「相手に寄り添う気持ち」「気配り」のところが育ってほしいと思います。

どんどんイベントに参加しましょう！（やな）

支援センター利用状況(5、6月)

・印刷、コピー 277件
・相談 42件
・登録団体数 85団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国4-4-15
(岩国市中央公民館3階)
TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324
E-mail:shien@sky.icn-tv.ne.jp
http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/